賢く　優しく　逞しく

９月号・令和４年９月１日発行

本校ＵＲＬ　http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/　武蔵村山市立第五中学校

日本の伝統・文化

校　長　榎戸　千代子

朝夕吹く風に秋の気配を感じる頃となりました。旧暦では、すでに７月は「初秋」、８月は中の秋で「仲秋」（中秋）、９月は「晩秋」です。平安時代に成立した最古の作り物語として有名な『竹取物語』の中では、かぐや姫が中秋の名月（旧暦８月１５日）に、月の世界に帰って行く姿が描かれています。現在では宇宙旅行も話題に上る時代となりましたが、この作品では、月に別世界があると想像する、ユーモアと発想の豊かさを感じます。この「中秋の名月」は、新暦では９月から１０月頃にあたり、今年は、９月１０日（土）になるそうです。日本では、この「中秋の名月」に豊作を願い、感謝する「お月見」という風習があります。縁側に稲穂の代わりとされるススキを飾り、団子や芋などのお供え物をします。昔は当たり前のように行われていた日本の伝統・文化ですが、最近の御家庭ではいかがでしょうか？

さて、日本の伝統・文化と言えば、７月４日（月）に本校では、「伝統文化音楽鑑賞会」を行いました。東京都では、オリンピック・パラリンピック教育の一つであった「日本人としての自覚と誇り」（日本の伝統・文化）をレガシーとして長く後世に残すために、今年度より「文化プログラム・学校連携事業」を立ち上げました。本校はこの事業に応募し、今年度実施校に選ばれ、鑑賞会が実現しました。

当日演奏をお願いしたのは、「東京楽竹団（らくたけだん）」の皆様です。このメンバーの一人である「足本みよ子」さんは、本校第９期の卒業生で、プロの打楽器奏者として御活躍されています。当日は、足本さんの他、４名の皆さんに御来校いただき、竹や尺八を中心とする和楽器の演奏をしていただきました。様々な和楽器が折り重なって醸し出される生の音色に魅せられ、圧倒され、素敵な時間を過ごすことができました。以下、生徒たちの感想を紹介します。

◆竹の自然な音がとてもきれいでした。なかでも、スタンプという楽器がステキでした。他の楽器に比べて音が下から聞こえてくるような感じでおもしろかったです。（１年）

◆竹マリンバの優しい音色や尺八のなめらかな音色、大太鼓の力強い音色がとても心に残りました。（２年）

◆身近にある自然なもので音が出ることに驚きました。皆さんが体を使って楽しそうに演奏していて私まで楽しくなりました。竹という自然なものが誰かを明るくさせる力があるということを本当に感じました。（３年）

◆一曲一曲の楽器の音がものすごくきれいで心が落ち着きました。同じ竹でできているのに楽器によって音が違うのが面白くて興味深かったです。（３年）

「吹奏楽部」東京都吹奏楽コンクール「金賞」、「東日本学校吹奏楽大会」出場決定！

８月８日（月）に東京都の吹奏楽コンクールが府中の森芸術劇場で行われ、本校は「金賞」を受賞しました。また、東京都大会出場８０校中、上位５校に選ばれ、１０月８日（土）に行われる「東日本学校吹奏楽大会」（北海道、北陸、東北、東関東、西関東、東京の各地区から選抜）に東京都代表として出場することになりました。応援よろしくお願いいたします。

明るいあいさつ・みんなの笑顔　第五中学校区（二小・八小・十小・五中）

第五中学校体罰防止標語：　チーム五中で　心に響く　生徒指導